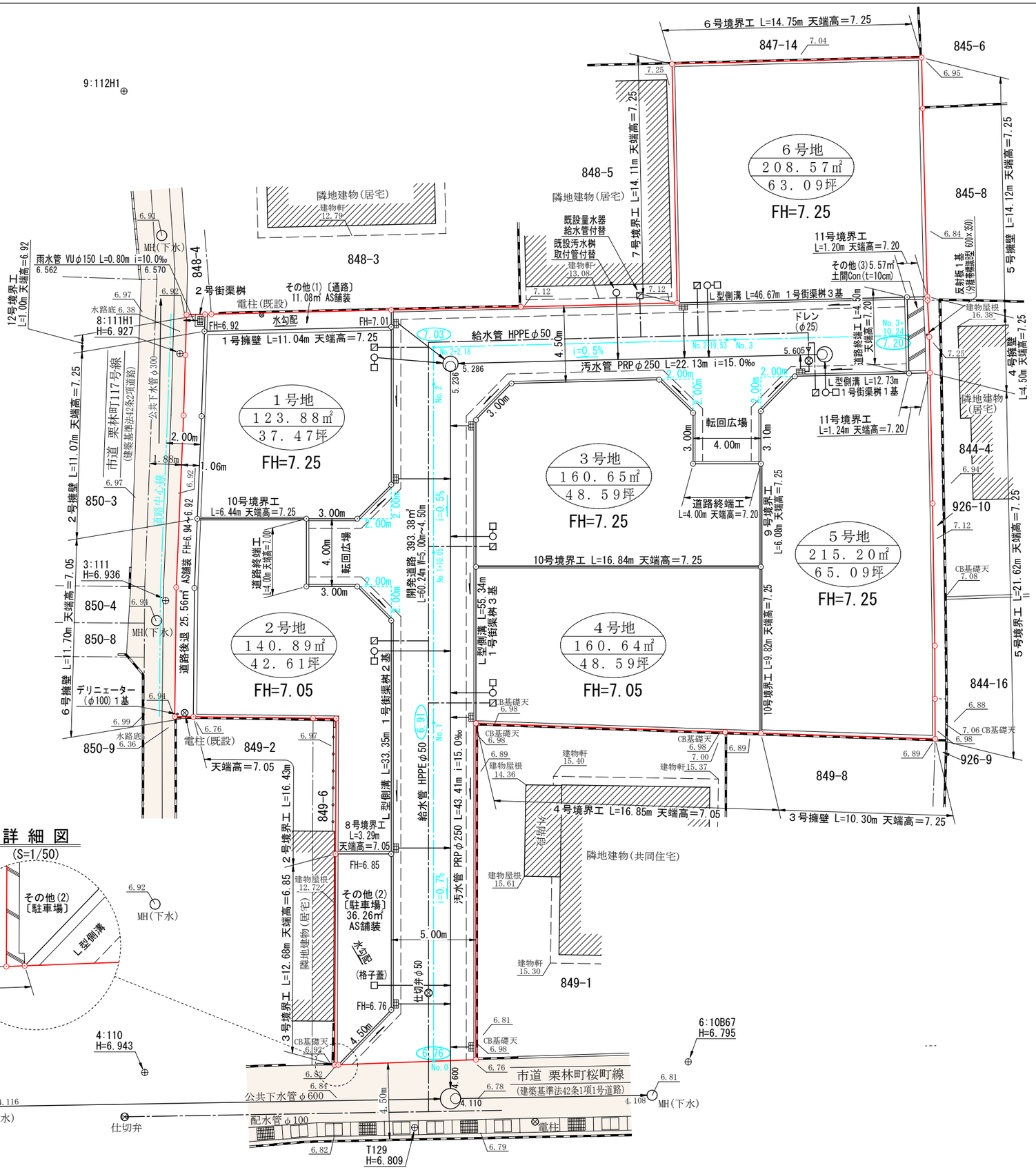

凡　例

	開発区域
	汚水インバート桝(φ200)－VUφ150(i=1.0%)
	雨水桝(φ400 H≦1000) －VUφ150(i=1.0%)防臭キャップ付
	量水器(φ13)(耐圧蓋)－PPφ20
	街渠桝(1号/2号)(T-25) －VUφ150(i=1.0%)防臭リング付
	L型側溝
	1号マンホール(T-14)(φ900)
	2号マンホール(T-14)(φ1200)
0.00	道路計画高

※PRP＝下水道用リブ付硬質塩化ビニル管(JSWAS K-13)

※特記事項
- 予定建築物の用途：一戸建ての住宅
- 汚水桝にはインバートを設置する。
- 雨水桝には泥溜(15cm)を設置する。
- 雨水桝から汚水桝への接続は防臭トラップを設ける。
- 道路内の排水管土被60cm未満の箇所は鉄筋コンクリートで管保護を行なうか、耐圧管を使用する。
- 管が交差する場合はクリアランスを10cm以上確保する。
- マンホールとPRP管の接続は可とう継手を使用する。
- 取付管の勾配は1.0%以上とし、本管(雨水・汚水)への接続は支管接合、断面方向の接続位置は本管の中心線より上方とする。
- 本管上の取付管間隔は1m以上とする。
- マンホール蓋耐荷重
  道路幅5.5m以上……T-25　5.5m未満……T-14
- マンホールでの管渠接続の削孔同士の間隔(残り代)は内面側で10cm以上確保する。
- 宅内排水管土被は20cm以上を確保する。
- 既設埋設管の位置・深さが正確でない場合があるため、工事施工の際には調査・試掘が必要です。
- 排水管放流口は接続先通常水位より上部に設置する。
- L型側溝端部は段差を生じないように施工する。
- 開発道路内に電柱を設置しない。
- 図中のレベル表記はT.P.基準による標高表示
- 開発協議の対象は最終桝から一次放流先までとする。

図面名	土地利用計画図
所在	高松市栗林町三丁目
縮尺	1/250
作成年月日	令和　4　年　9　月　26　日
作成者	香川県高松市牟礼町牟礼2949番地 土地家屋調査士　森　和夫